

# ハンノキ通信

初夏の号

ハンノキ通信 初夏の号 平成25年7月発行  
【発行・問い合わせ先】  
あらかわ市民環境サポーター事務局  
(国土交通省 荒川上流河川事務所 河川環境課内)  
Tel : 049-220-0145 Fax : 049-247-9850  
Email : 3biotop@ktr.mlit.go.jp

## 荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島子どもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

## みんなでハンノキを育てています

荒川ハンノキプロジェクトに参加し、ハンノキを育てているみなさんを紹介します。

### 川島町立出丸小学校 5・6年生



### 上尾市立太平中学校 科学部



上は、出丸小学校5・6年生のみなさん。ハンノキは、一人ひとりの名前を貼ったポットに植えて、責任をもって育てています。

左は、太平中学校科学部のみなさん。学年ごとに水やり当番を決めて、ハンノキを育てています。

## 三ツ又沼ビオトープ トピック

### ノイバラが咲いていましたー5月16日(木)



三ツ又沼ビオトープを歩いていると、あちこちでノイバラが白い花を咲かせていました。木道に腰掛けて観察すると、ナナホシテントウの幼虫やアワフキムシなどいろいろな生きものが訪れていました。

### 【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。



### 【環境サポーター】

荒川の豊かな自然が残されている三ツ又沼ビオトープを守る保全管理作業や自然学習の指導をしている市民の方々です。サポーター事務局(荒川上流河川事務所)にて登録しています。

## 企業や学校といっしょに活動しました

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

### 地域を知るために

(株)武蔵野銀行(埼玉県さいたま市)ー4月18日(木)

新人行員 116 名が三ツ又沼ビオトープで、オオアラセイトウ(中国原産)を抜いたり、マグワ(中国原産)を切ったりしました。これは、新人研修の一環で埼玉県の自然をよく知ることが目的でした。



### ビオトープの勉強に

大正大学(東京都豊島区)ー4月22日(月)

環境コミュニティコースの学生 28 名が、三ツ又沼ビオトープの保安全管理の実習に訪れました。外来植物を抜いたり、環境サポーターの解説を聞いたり…最後はみんな意見交換をしました。



### 地域の野草を育てる実験がスタート

埼玉県立いずみ高等学校(埼玉県さいたま市)

ー4月25日(木)

生物サイエンス科2学年の生徒36名と連携し、在来植物\*1でセイタカアワダチソウ(北アメリカ原産)などの外来植物\*2が増えるのをおさえる試みが始まりました。この日は、三ツ又沼ビオトープで集めたチガヤなどの種子をまきました。これから、一年かけて芽の出やすさや育て方の条件など、いろいろなことを調べていきます。

\*1 在来植物：日本にもともと生えている植物

\*2 外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物



### 保安全管理作業をして地域貢献

(株)丸電(埼玉県さいたま市)ー5月25日(土)

社員32名が、地域貢献の一環として、保安全管理活動を行いました。この日は、増えすぎてしまうクズや、アレチギシギシ(ヨーロッパ原産)を抜く作業をしました。なかには、地面に埋まった7mもあるクズの根っこを掘り出した方もいました。

